

【学校保健安全法に定められた感染症による授業欠席について】

【保健管理室】2025.4（2025.11.17 修正）

- (1) 医療機関記載の「根拠書類」と本学書式の「欠席届申請書（感染症用）」を準備する。
- (2) Moodle(ムードル)の「感染症報告（保健管理室）」に入力する。
- (3) 登校再開後1週間以内に学生課に(1)の書類を提出し、「欠席届（感染症用）」を受け取る。
- (4) 欠席した授業の次回出席時に各担当教員に「欠席届（感染症用）」を提出する。

新型コロナウイルス感染症

（発症したあと5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで出席停止）

インフルエンザ

（発症したあと5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで出席停止）

その他の学校保健安全法に定められた感染症

Moodle「感染症報告（保健管理室）」の感染症罹患証明書（本学書式）の裏面を参照してください

根拠書類（①～②のいずれか、③の場合は条件を満たす書類）

- ①「感染症罹患証明書(本学書式)」
- ②「診断書」
- ③「検査結果報告書」「診療明細書」等、以下のすべてが確認できる書類のみ可

診断された病名・検査結果（陽性）（検査キットの写真は不可）

氏名・受診日（検査日）・医療機関名

上記の5つが確認できない場合は①か②を医療機関で取得してください。

根拠書類（①②のいずれか）

- ①「感染症罹患証明書(本学書式)」
- ②「診断書」

注意!!

- ・ 感染症と診断されなかった場合は「欠席届（感染症用）」は発行できない。学生課に置いてある「欠席届」（自由配布）を担当教員に提出すること。
- ・ 学校保健安全法による出席停止期間（5日間程度）を超える欠席については保健管理室に相談すること。
- ・ 感染症による定期試験の「追試」については、SAINS Portalなどで最新情報を必ず確認すること。（随時変更の可能性あり）
- ・ 担当教員への「欠席届(感染症用)」の提出が遅れた場合や遅れそうな場合、すみやかに自分で担当教員に連絡・相談する。
提出が遅れた際は、成績評価に影響する可能性がある。自己責任なので十分に注意すること。

●根拠資料、出席停止期間などについてはまずSAINS Portal→事務局→保健管理室のページを確認してください。

リンク：健康管理 | 学生サポート | 西南学院大学 - 福岡から全国へ、世界へ、はばたく力を。 - ([seinan-gu.ac.jp](https://www.seinan-gu.ac.jp)) URL:<https://www.seinan-gu.ac.jp/campuslife/support/infirmery.html>

●質問・相談先…（保健管理室）TEL：092-823-3316 Mail:hoken-kanri@seinan-gu.ac.jp（開室時間）平日：8：45～17：20

感染症罹患証明書の記入について（ご依頼）

学校保健安全法施行規則第 18 条に定める「学校で予防すべき感染症」に罹患した本学学生について、以下の証明書のご記入と交付をお願いします。

記載に際して、ご不明な点がございましたら、次の問い合わせ先までご連絡ください。また、本学から記載内容について、貴院に連絡させていただくことがありますのでご了承ください。よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 学生課 保健管理室 TEL：092-823-3316/E-mail:hoken-kanri@seinan-gu.ac.jp

感染症罹患証明書

【本人記入欄】

在学番号	学生氏名	連絡先電話番号
------	------	---------

【医療機関記入欄】

西南学院大学 学生部長 殿

上記の学生は、学校保健安全法施行規則第 18 条に規定された感染症と診断しましたので、証明します。

診断名 該当する病名 を○で囲み、 その他の感染症 の場合は ご記入くださ い。	新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ（A 型・B 型）・百日咳・麻疹・流行性耳下腺炎 風しん・水痘・咽頭結膜熱・結核・髄膜炎菌性髄膜炎・流行性角結膜炎 溶連菌感染症・感染性胃腸炎・マイコプラズマ感染症・EB ウイルス感染症 その他学校保健安全法施行規則に規定された感染症 〔 〕
--	---

初診日： 20 年 月 日

発症日： 20 年 月 日

発行日：20 年 月 日

医療機関名・住所：

TEL：

医師氏名：

印

★医療機関で本証明書を記載してもらい、学内の Moodle「感染症報告（保健管理室）」による申し出の後、出席停止期間終了後 1 週間以内に学生課にて「欠席届（感染症用）」取得の手続きをし、欠席した次の授業時に担当教員に提出してください。

【学生課担当者印】



【この書類に記載された個人情報の取り扱いについては、西南学院個人情報保護規程に則り、厳重かつ適正に行います】

学校において予防すべき感染症の種類について

(学校保健安全法施行規則に基づき作成。2023 年 5 月 8 日現在)

※ 学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則の改正に伴い、疾患及び出席停止期間の基準は変更される可能性がある。

分 類	特 徴	疾 患	出席停止期間の基準
第 1 種	伝染力、重症度から危険性が極めて高い感染症 ＊感染症予防法における 1・2 類感染症、指定感染症及び新感染症を含む	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群 (SARS)、中東呼吸器症候群 (MERS)、特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等	治癒するまで
第 2 種	飛まつ感染でうつる伝染力の強い感染症 ＊飛まつ感染：患者の咳やくしゃみで飛ぶしぶきを吸い込むことで感染	新型コロナウイルス感染症	発症した後 5 日を経過し、かつ、症状が軽快した後 1 日を経過するまで
		インフルエンザ（第 1 種以外）	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで
		百日咳	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
		麻疹（はしか）	解熱した後 3 日を経過するまで
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
		風しん（三日はしか）	発しんが消失するまで
		水痘（みずぼうそう）	全ての発しんがかさぶたになるまで
		咽頭結膜熱	主要症状が消退した後 2 日を経過するまで
		結核、髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで
第 3 種	放置すれば拡大する可能性のある感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症 (O-157)、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（溶連菌感染症、感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、EB ウイルス感染症等）	病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで

提出日： 20 年 月 日

欠 席 届 申 請 書（感染症用）

学 生 部 長 様

在学番号

所 属

学部

学科

専攻

氏 名

（ 男 ・ 女 ）

電話番号

学校保健安全法施行規則第 18 条に規定された下記の感染症に罹患したため、欠席しましたのでお届けします。

記

期 間： 年 月 日 ～ 年 月 日

診断名：

※ 添付書類（ 本学所定の感染症罹患証明書又は診療を受けた医療機関の診断書 ）

欠席した授業科目

欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限	欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限	欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限	欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限	欠 席 日	年 月 日（ ） 年 月 日（ ） 限 限

欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限	欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限	欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限	欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限	欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限
欠席科目		欠席科目	
担当教員		担当教員	
欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限	欠 席 日	年 月 日 () 限 年 月 日 () 限

<学校において予防すべき感染症の種類について>

(学校保健安全法施行規則に基づき作成. 2023 年 5 月 8 日現在)

※学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則の改正に伴い、疾患及び出席停止期間の基準は変更される可能性があります。

分類	特 徴	疾 患	出席停止期間の基準
第 1 種	伝染力、重症度から危険性が極めて高い感染症 * 感染症予防法 1・2 類感染症、指定感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ、	治癒するまで
第 2 種	飛まつ感染でうつる伝染力の強い感染症 * 飛まつ感染：患者の咳やくしゃみで飛ぶしぶきを吸い込むことで感染	新型コロナウイルス感染症	発症した後 5 日を経過し、かつ、症状軽快後 1 日を経過するまで
		インフルエンザ（第 1 種以外）	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで
		百日咳	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
		麻疹（はしか）	解熱した後 3 日を経過するまで
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
		風しん（三日はしか）	発しんが消失するまで
		水痘（みずぼうそう）	全ての発しんがかさぶたになるまで
		咽頭結膜熱	主要症状が消退した後 2 日を経過するまで
第 3 種	放置すれば拡大する可能性のある感染症	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで
		コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症（O-157）、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（溶連菌感染症、感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、EB ウイルス感染症等）	病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで